

令和 7 年度 事業報告書

社会福祉法人創和会

目 次

【各部署の年度報告】

地域密着型特別養護老人ホーム	2
通所介護事業（デイサービス）	4
訪問介護事業（ヘルパーステーション）	6
居宅介護支援事業（ケアマネジメントセンター）	9
グループホーム	1 4
看護グループ	1 7
総務管理課（法人本部事務局）	1 8

各部署の年度報告

地域密着型特別養護老人ホーム

令和 7 年度主要目標に対する実績

(1) 部門経営の安定化

【実績】

入居率（居室稼働率）は 97.6%と、目標（99%）達成には至りませんでした。今年度は 6 月から 9 月までで合計 6 名の退去者が出て、9 月には達成率が 91%台にまで落ち込みました。しかし、10 月より 4 ヶ月間は満床となり、その後退去があっても新規入居者を 2 週間前後で入居へ繋げ、何とか 97.6%に留まりました。年度初めは 4.5 近くあった平均介護度も、年度末現在は、4.2 となっています。空床利用でのショートステイをご利用されてから、本入居へと繋がった方は 3 名いらっしゃいました。

(2) 介護職員等の体制確保

【実績】

令和 7 年 3 月には派遣職員に頼らない体制となっていました、すぐに人員不足により派遣職員に頼らざるを得ない期間が 12 月まで続きました。諦めずに直接雇用の人材を探し、退職者の出ないよう研修や勤務体制の見直しを行い、令和 8 年 1 月より派遣職員の数が 0 となりました。毎月のユニットミーティングや各種会議、各カンファレンスなどは定期的に行い、意見交換の出来る風通しの良い環境作りに努めました。介護ロボットやインカムなど IT 化を検討しましたが、導入には至りませんでした。インカムについては、以前より特養内でスタッフ間の連絡ツールとして PHS を使用しており、その代替品として期待し業者から直接商品の説明を受けましたが、介護中持ち歩く備品が却って多くなることが分かり導入は断念致しました。

(3) 介護の質の向上

【実績】

法定研修以外の研修も実施するようにしました。特別養護老人ホームで初めて、ユニットケアについての研修を受けたユニットリーダーによるユニットケア研修を、職員に向けて行いました。外部の業者には 2 ヶ月ごと定期的に研修に来ていただき、ご入居者に合わせたオムツの当て方等を学ぶ機会を設け、職員の介護の質の向上に役立てました。朝や夕方の申し送りでは、月毎に標語を掲げ、職員間の周知に努めました。例年と同じような薬に対するヒヤリハット報告の他に、大きなケガや入院に至る事故はありませんでした。ヒヤリハット等発生した際は、他職員にも共有し、ケースによって看護グループと共に対策を取り、同じことが起きないように取り組みました。

「全体総括」

今年度は、積極的なご面会のルール緩和を行ない、ご入居者のご家族だけのお時間が作れるように、面会の間隔を各個人別に設定することによって、より多くの方にご入居者にご面会いただけるようにしています。また、年末年始には外泊はいらっしゃいませんでしたが、ご自宅へ一時

的に帰られたり、外食を楽しんでいただいたり、1階にあるカフェ「はなみずき」で一緒に昼食を召し上がっていただいたりと、地域密着型の特別養護老人ホームとしてのあるべき姿に、近づきつつある一年となりました。

1, 令和7年度 特別養護老人ホーム事業実績（収入・稼働率等）

金額単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
①前年度収入実績	9,579	11,460	10,253	10,485	9,605	12,043	10,336	9,849	10,539	11,040	9,650	9,867	124,706	
②収入予算	9,760	10,086	9,760	10,086	10,086	9,760	10,086	9,760	10,086	10,086	9,110	10,086	118,752	
③収入実績	9,621	8,548	9,578	11,476	10,009	10,598	8,660	11,985	10,505	10,611	9,381	10,125	121,097	
④(②-③)差額	139	1,538	182	-1,390	77	-838	1,426	-2,225	-419	-525	-271	-39	-2,345	
⑤(③/②) 予算達成率	98.6%	84.8%	98.1%	113.8%	99.2%	108.6%	85.9%	122.8%	104.2%	105.2%	103.0%	100.4%	102.0%	
⑥居室数	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7,300	
⑦目標稼働居室	594	614	594	614	614	594	614	594	614	614	554	614	7,228	
⑧稼働居室	600	620	583	606	595	548	579	600	620	620	545	610	7,126	
⑨(⑧/⑥) 稼働率	100.0%	100.0%	97.2%	97.7%	96.0%	91.3%	93.4%	100.0%	100.0%	100.0%	97.3%	98.4%	97.6%	
四 半 期	⑩居室	1,820			1,840			1,840			1,800			7,300
	⑪稼働 居室	1,803			1,749			1,799			1,775			7,126
	⑫(⑪/⑩) 稼働率	99.1%			95.1%			97.8%			98.6%			97.6%
入居者数		0	0	1	1	0	1	2	1	0	0	1	1	8
退居者数		0	0	1	1	1	3	0	0	0	0	1	1	8

2, 令和7年度 ボランティア受け入れ実績

ボランティア受け入れ実績（延人数）

ボランティア（個人・団体）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住民の会（ぶどうの会）	17名	16名	16名	14名	12名	14名	12名	11名	14名	14名	13名	13名	166名
第1四半期		第2四半期			第3四半期			第4四半期			総計		
49名		40名			37名			40名			166名		

通所介護事業（デイサービス）

介護事業の充実

1. 通所介護事業の継続

令和7年度も前年に引き続き、デイサービスの新規ご利用者の確保を最優先課題として取り組みましたが、利用者増加にはつながりませんでした。

具体的には、既存のご利用者に対し増回などの提案、また送迎範囲の見直しや、新規見学希望者の強化、各ケアマネジャーと定期的に連絡を取りながら、空き状況やエリアの確認などを伝え新規利用者の確保に努めました。しかしながら毎月の実績は予算に届かず、結果今年度も予算未達成で終わりました。

以下、その他の主な取り組み内容です。

- (1)常勤職員には相談員業務を習熟するよう定期的に常勤ミーティングを実施して参りました。
また、スタッフの統一したケアが出来るように、業務終了後に常勤ミーティングを行い、業務改善に繋げていきました。
- (2)今年度は、業績改善の為、理事長も参加しての業務の見直しに取り組みました。
- (3)新規見学希望は、受入対応を強化し新規利用者確保につながるよう取組んで参りました。
また、送迎範囲の見直しをドライバーと共有しながら行なって参りました。
- (4)感染症予防の取り組みとしては、行政からの情報や感染対策委員会など確認しながら運営致しました。その為ご利用者には、マスクの着用、迎え前の検温、ご家族の体調の申告等を引き続きお願いして参りました。
また、デイサービス内では、職員の体調管理や業務に就く際の衛生対策、マスク、ディスポグローブの着用を行いました。
ご利用者には食事以外の時間のマスク着用、密を回避する座席の配置、送迎車両の定員数や時間帯などの調整致しました。
- (5)感染対策の継続を行いながら、併せて取り組んでいる感染対策状況を伝えました。また、他事業所のデイサービスの感染対策を把握して改善出来る点の見直しを行いました。
更に、感染対策で制限されていた外部からのボランティアの来訪を緩和して、ご利用者を楽しませたいイベント企画を実施して利用者様の増回に努めて参りました。
- (6)趣味活動では住民の会ボランティアの皆様を中心にご協力をいただき午後の趣味活動に力を入れて参りました。ご利用者の中にはケアセンター成瀬デイサービスの趣味活動を楽しみにされていらっしゃる方が多く、趣味活動を支えるボランティアの皆様の協力を得ながら、季節の作品の作成や脳トレ関連のプリントを活用して、サービス提供中の時間を充実して過ごせるよう工夫を行いました。

2. 社会貢献

町田市中学校2年生の職場体験を3校11名受け入れました。

今後もデイサービスを知っていただけるよう、引き続き受け入れを進めていこうと考えております。

令和7年度利用・収入等実績

一般型通所介護事業所（総合事業を含む。）
実績金額：76,012千円、対予算比：77.1%

令和7年度デイサービス利用実績

1. 令和7年度 月別利用者延べ人数（一般デイサービス、総合事業） 単位：名（「事業日数」は「日」）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	月平均
デイ	612	687	627	691	671	682	680	660	705	603	595	652	7,865	655
事業日数	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	26	309	26
1日平均利用者数	23.5	25.4	25.1	25.6	25.8	26.2	25.2	26.4	27.1	25.1	24.8	25.1	25.5	25.5

（参考：令和6年度実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	月平均
デイ	716	718	655	740	778	735	812	714	616	514	514	599	8,111	676
事業日数	26	27	25	26	27	27	25	26	25	24	24	26	308	26
1日平均利用者数	27.5	26.6	26.2	28.5	28.8	27.2	32.5	27.5	24.6	21.4	21.4	23.0	26.3	26.3

2. 令和7年度 入浴サービス利用者曜日別人数

	月	火	水	木	金	土	平均
人数(名)	10	10	9	10	8	9	9.3

3. 令和7年度 学習療法利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	月平均
人数(名)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120	10.0
増加人数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1
減少人数	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	4	0.3

4. 令和7年度 新規・終了利用者数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		年間合計	
	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了
一般	2	4	4	3	1	1	0	2	0	0	5	1	28	26
総合事業	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	2
合計	3	4	5	3	1	1	0	2	1	0	5	1	33	28
	10月		11月		12月		1月		2月		3月		月平均	
	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了
一般	1	2	1	1	3	0	2	7	5	2	4	3	2.33	2.17
総合事業	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0.42	0.17
合計	1	2	2	1	3	2	3	7	5	2	4	3	18	17

5. 令和7年度 実習生(体験学習)受入れ及びボランティア活動人数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
各種ボラ	68	72	70	72	70	76	74	76	78	70	68	72	866	72.17
その他	0	0	0	2	2	2	2	2	2	6	2	0	20	1.67
合計	68	72	70	74	72	78	76	78	80	76	70	72	886	73.83

6. 令和7年度 収入実績 単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
一般	R6実績	7,237	6,686	6,699	6,828	7,720	7,255	8,067	7,206	6,283	5,337	5,202	80,423
	R7予算	8,198	8,198	8,248	8,248	8,240	8,248	8,248	8,248	8,228	8,178	8,072	98,592
	R7実績	6,162	6,633	6,070	6,644	6,661	6,969	6,388	6,392	6,792	6,754	4,903	76,012
	対前年比	85.1%	99.2%	90.6%	97.3%	86.3%	96.1%	79.2%	88.7%	108.1%	126.6%	94.3%	94.5%
	対予算比	75.2%	80.9%	73.6%	80.6%	80.8%	84.5%	77.4%	77.5%	82.5%	82.6%	60.7%	77.1%

訪問介護事業部（ヘルパーステーション）

1、事業実績

（1）訪問介護・日常生活支援総合事業

【実績】月平均 136 名の利用で、利用時間は月平均 1,366 時間でした。

昨年度と比較すると利用者約 19 名減少、派遣時間は約 53 時間減少となりました。今年度も年末から年始にかけて入院、入所、ご逝去が度重なり、安定した利用者数の維持が困難となりました。

新規受け入れは年間 38 名で、昨年度より 25 名減少しました。

終了者については令和 7 年 12 月～令和 8 年 3 月にかけて 15 名終了、8 名入院となり 12 月から後半の実績の減少の要因となりました。

（2）居宅介護・重度訪問介護（障害福祉サービス）

【実績】居宅介護の利用者は月平均 8 名、重度障害の利用はありませんでした。利用時間は月平均 941.1 時間で、重度障害サービスの利用が無かった分、昨年より 28.6 時間減少しました。

平成 27 年からヘルパー 2 人対応で毎月 12 時間のサービス提供をしていた肢体不自由の利用者も入所の為、3 月いっぱい終了となりました。

10 年間関わらせて頂き、ご家族からも感謝のお言葉を頂きました。

（3）制度外訪問介護（自費サービス、院内付き添い等）

【実績】月平均 14 名の利用がありました。提供時間数は月平均 54 時間で、昨年より 20 時間増加となりました。介護保険では出来ない自宅の片づけや整理で、毎週 3 時間定期利用される方が増えた事が増加の要因となりました。

令和 8 年 4 月からは物価高騰の煽りを受け、利用料金を見直す事にしています。

2、事業総括

1（方針）「介護事業の充実」利用者のニーズに合ったサービスの提供。

【実績】利用者のニーズに合ったサービス提供が出来る事、虐待防止に向けた研修、介護職員のスキルの維持、向上に努め、今年度も以下の研修を受講しました。

（1）施設内全体研修（日付は開催日）

①「認知症の理解」	7/24	18：00～20：00	17 名
②「管理者向け研修」	9/24	14：00～16：00	2 名
③「虐待防止・身体拘束廃止研修」	2/20	17：45～20：25	3 名

（2）部門内研修（日付は開催日）

①「接遇マナー研修」	7/15, 17
②「障害者虐待防止、権利擁護研修」	7/6～27, 8/29
③「介護記録の書き方」	8/6
④「感染症対策」	11/11, 12
⑤「第 3 号喀痰吸引研修」	11/15, 16
⑥「介護講習会」	11/23

⑦「認知症意思決定支援」	12/14, 21
⑧「BCP 事業持続計画研修」	1/22, 24
⑨「高齢者、障害者サービス事業所集団指導」	1/18, 24
⑩「高齢者虐待防止研修」	3/5, 7

2（方針）「経営の安定化」介護スタッフの確保と運営。

【実績】令和7年度は35名の登録ヘルパーと、12名の内勤スタッフでサービス提供をしてまいりました。3月に登録ヘルパーが1名入職致しました。

退職者はいません。ヘルパーの高齢化も止められない現状となっていますが、個々の特性を鑑みて適材適所に派遣を実施してきました。

3（方針）地域貢献。

【実績】地域にお住いの難病の利用者に対して今年度も「第3号喀痰吸引研修」（特定の方に対する喀痰吸引）を3名受講しました。

短期間の単発な利用や、家族で対応困難な排泄介助、転倒時の緊急要請に柔軟に対応しました。

全体総括

令和6年（2024年）4月に訪問介護の報酬改定が約2%のマイナス改定となり、その報酬単位を継続しての1年間でした。

ヘルパーの高齢化、介護報酬の高い身体介護が出来るヘルパー不足も課題として続いています。

勤続年数が長いヘルパーも多くなり、改めて7月に「接遇マナー」「介護保険制度」について全職員に対して研修を行いました。

その他、1月には支援中に起きた大地震を想定した非常事態時の対応に関する研修も行いました。実践で使えるように内容をコンパクトに纏めたマニュアルを全職員の端末に保存し、いつでも繰り返し見返す事が出来るようにしました。

緊急時の安否確認の利用者リストも、医療依存度の高い方を優先とし、更に地域別に纏め、常に最新の内容であるようにメンテナンスを行いました。

今後も効率の良い業務進行と職場環境の見直しも併せて考えていきます。

地域の利用者に満足して頂け、働くヘルパーからも信頼して貰えるオープンな事業所運営を心掛けていきたいと思えます。

令和7年度ヘルパーステーション利用実績

別表1 介護保険

単位:名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総利用者数	R6年度	150	151	161	165	158	157	158	157	161	154	145	146	1,863
	R7年度	147	137	131	129	125	138	142	137	141	135	132	137	1,631
要介護者数	R6年度	103	104	111	113	111	108	110	112	117	111	101	101	1,302
	R7年度	101	93	90	92	89	98	98	96	100	95	89	94	1,135
要介護法人内CM	R6年度	40	39	43	44	43	42	41	42	45	42	37	40	498
	R7年度	41	33	29	31	28	32	33	33	35	34	29	31	389
要介護法人外CM	R6年度	63	65	68	69	68	66	69	70	72	69	64	61	804
	R7年度	60	60	61	61	61	66	65	63	65	61	60	63	746
要支援者数	R6年度	47	47	50	52	47	49	48	45	44	43	44	45	561
	R7年度	46	44	41	37	36	40	44	41	41	40	43	43	496
新規利用者数	R6年度	4	5	11	7	0	9	8	4	4	2	6	3	63
	R7年度	1	1	1	2	2	8	5	0	5	4	5	4	38
派遣時間	R6年度	1,397	1,416	1,384	1,561	1,446	1,418	1,455	1,475	1,461	1,408	1,203	1,407	17,031
	R7年度	1,380	1,367	1,418	1,378	1,290	1,384	1,479	1,370	1,381	1,298	1,277	1,382	16,404
登録HP活動人数	R6年度	34	35	35	34	34	35	36	34	34	32	33	34	410
	R7年度	34	32	32	32	32	32	34	33	32	34	34	35	396

別表2 障がい

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護利用者数	R6年度	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
	R7年度	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
重度訪問利用者数	R6年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
	R7年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移動支援利用者数	R6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R7年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
派遣時間	R6年度	110.5	101.5	113.8	97.5	87	170.5	186.5	182.3	104.6	74.5	70.3	85	1384
	R7年度	90	85.2	85.8	99.5	72.2	76.5	73.8	72.3	62.5	75.5	71.8	76	941.1

別表3 制度外

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣時間	R6年度	32.5	40	32	22	19	22.5	27.5	34	28	35	52	65.5	410
	R7年度	49	62	68	45	51	52	75	37	61	51	48	64	663
利用者数	R6年度	13	17	12	10	8	9	12	12	13	15	19	13	153
	R7年度	18	14	18	12	12	12	17	13	16	13	12	17	174

別表4 収入(制度外含む)、介護保険・障がい

単位:千円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	R6実績	5,595	6,705	6,970	7,181	6,203	6,170	6,672	6,535	6,989	6,349	5,622	6,687	77,678
	R7予算	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	80,400
	R7実績	6,310	6,572	5,977	6,116	5,802	6,668	6,725	6,135	6,797	5,647	5,592	6,251	74,592
	R7対予算比	-390	-128	-723	-584	-898	-32	25	-565	97	-1,053	-1,108	-449	-5,808
障がい	R6実績	437	388	339	411	362	603	719	621	402	315	293	348	5,238
	R7予算	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	3,840
	R7実績	337	342	374	371	276	312	291	285	235	305	293	299	3,720
	R7対予算比	17	22	54	51	-44	-8	-29	-35	-85	-15	-27	-21	-120

別表5 実習生受け入れ

単位:名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
町田福祉保育専門学校	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
北里大学医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※「別表1」内の「法人内CM」…創和会のケアマネジメントセンター（ケアマネ）

「法人外CM」…創和会以外のケアマネジメントセンター（ケアマネ）

居宅介護支援事業部（ケアマネジメントセンター）

本年度は、ご利用者の多くがいわゆる団塊の世代となり、家族構成も子世代中心へと変化していることから、生活スタイルや価値観の違いに応じた多様なニーズがみられるようになりました。そのため、従来の支援内容を振り返りながら、個別性を重視した支援の充実に取り組みました。

また、ケアマネジャーの人員について、異動や休養等により体制が不安定となる状況でしたが、職員同士で連携を図りながら、ご利用者への支援に支障が生じないよう努めました。

さらに、次期介護保険事業計画の策定に向けて、行政が実施する高齢者及び家族への聞き取り調査に協力し、地域の実情把握や今後の施策検討の一助となるよう取り組みました。

加えて、生産性向上への取り組みとして、国が推進する「ケアプランデータ連携システム」を導入しました。今後は、本格的な運用に向けて準備を進め、関係事業所との情報共有の効率化や事務負担の軽減につなげていく予定です。

事業運営について

1. 【計画】

ケアプランの作成、サービス担当者会議の開催、モニタリング訪問、サービス利用票や給付管理票等の書類作成および保険請求事務手続き、自治体やサービス事業者との連絡調整を行います。

また、常勤ケアマネジャー1名につき担当件数 40 件を目標に受け入れを行います。

【実績】

- ・要介護利用者実績は、年間延べ 1,760 件（前年度比▲164 件）、月平均 146.6 件（同▲13.7 件）でした。
- ・要支援利用者実績は、年間延べ 177 件（前年度比▲11 件）、月平均 14.7 件（同▲1.8 件）でした。
- ・新規利用者は、要介護 42 件（前年度比▲3 件）、要支援 9 件（同▲5 件）でした。
- ・相談のみで、利用に至らなかった方は、31 件でした。
- ・終了となった方は、年間 37 件（前年度比▲10 件）でした。
- ・ケアマネジャーの人員は、7 月に非常勤 1 名が人事異動により減員、10 月に非常勤 1 名が入職しました。そのため、4 月～6 月は 4.4 人、7 月～9 月は 3.6 人、10 月～3 月は 4.2 人の体制となり、年平均では 4.1 人（前年度比▲0.3 人）となりました。
- ・ケアマネジャー1人当たりの担当件数は、37.0 件（前年度比▲0.7 件）でした。

※要支援は 3 件を 1 件として換算しています。

今年度は、前期にケアマネジャーの異動に伴うケースの引継ぎが発生し、新規利用者の受け入れが困難な時期がありました。後期は新たにケアマネジャーが入職したものの、同時に休養予定の職員もおり、内部での引継ぎが必要となったため、人員体制が不安定な状況となりました。

2. 【計画】

「特定事業所加算Ⅱ」の加算取得を継続するとともに、「居宅介護支援費Ⅰ」の基準を順守し法人の経営安定を目指します。

【実績】

常勤職員及び主任ケアマネジャーについて、要件を満たす人員配置ができ、加算取得を継続できました。

また、加算要件である、週 1 回の部署内会議の開催、研修参加、24 時間連絡体制の確保等、継続して実施しました。

3. 【計画】

東京都介護支援専門員実務者研修受け入れ、ケアマネジャー向け研修会開催等、地域のケアマネジャーの育成にも尽力します。

【実績】

東京都の介護支援専門員実務者研修の実習生受け入れ 1 名

主任ケアマネジャー 2 名が町田市南圏域主任介護支援専門員協議会に所属し、研修会や地域ケア会議の開催に参画し、地域のケアマネジャー育成に取り組みました。

4. 【計画】

予防プラン（要支援 1・2 の方）作成の委託をうけます。委託数については、要介護の方のケアプラン作成に支障がない範囲とします。

【実績】

高齢者支援センターと連携し、要支援のご利用者の委託もお受けしました。

ケアマネジャー一人当たり 3.6 件受け持っています。

要支援のご利用者は、半日型の機能訓練に特化したデイサービスをご利用なさる方が多い傾向です。ご利用者に紹介するにあたっては、新しく開所した事業所の見学に行く等、新たなサービス事業所の情報収集も行いました。

5. 【計画】

町田市の委託業務として、要介護認定調査を受けます。調査員として 1 名配置、町田市とは電子化によるやりとりを継続しスピーディーな認定結果の判定に繋がります。

【実績】

今年度も継続し、認定調査員を専任で 1 名配置し、年間 326 件（うち町田市 319 件、他市 7 件）の調査を行いました。7 月は職員の療養に伴う人員体制の変動により、実績が減少しました。

6. 【計画】

参加加盟団体

- ・町田市ケアマネジャー連絡会
- ・町田市南圏域主任介護支援専門員協議会

【実績】

計画通り実施しました。定例会議や研修に参加するほか、他事業所のケアマネジャーと共同で研修会の企画運営やケアプラン点検事業に協力しました。

7. 【計画】

営業範囲

- ・町田市内の一部（成瀬、成瀬台、西成瀬、高ヶ坂、東玉川学園）

上記以外の地域は状況によりお受けします。

【実績】

計画通り実施しました。また、玉川学園、成瀬が丘、南大谷、金森、金森東のご利用者、他県が保険者で町田市在住の方もお受けしています。

8. 【計画】

営業時間

- ・ 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 (電話接続 : 8 : 3 0 ~ 1 7 : 1 5)

上記以外の時間は携帯電話にて常勤職員が持ち回りで受付します。

【実績】

計画通り実施しました。営業時間外は常勤職員が自宅にて対応しています。最近、ご家族とショートメッセージや e メールを活用した連絡が増えています。

9. 【計画】

- ・ 事業所内において日々の情報共有と定期的な会議を開催し、相互協力のもとチームでの支援を行います。
- ・ 人材育成、自己成長を目的とし、業務内外において研修機会をもうけます。
- ・ 関係機関との連携をはかり利用者へのより良い支援体制を構築します。

【実績】

- ・ 日々のミーティングによる報告・連絡・相談に加え、週 1 回の定期会議を開催し、ケース検討や制度に関する勉強会等を実施しました。ケアマネジャーは担当制で利用者を受け持っていますが、部内で密にコミュニケーションを図ることで、多様な視点からの支援ができるよう取り組みました。
- ・ 外部研修にも参加し、町田市による集団指導や障がい福祉制度に関する研修などを通じて、知識の習得に努めました。
- ・ 利用者のかかりつけ医、看護師、保健師、高齢者支援センター、障がい者支援センター、生活援護課等のフォーマルな機関に加え、地域のインフォーマルな支援団体とも適宜連携し、支援を行いました。

業務改善・効率化について

1. 【計画】

厚生労働省は I C T 化を進めており、ケアマネジャーの業務負担軽減や業務効率化が必要となっています。当事業所においては、新しく導入したソフト「ほのぼの」の活用を進めていきます。

【実績】

新たに導入した介護ソフト「ほのぼの」の活用も徐々に習熟してきました。

また、「ほのぼの」と連動させ、6 月に厚生労働省が推進する「ケアプランデータ連携システム」への登録を行い、サービス事業所とのケアプランのやり取りをオンラインで完結できる仕組みを導入しました。

今年度は、サービス事業所側でのシステム導入が十分に進んでいないことから、実際の運用には至りませんでしたが、各自治体においても登録事業所の拡大が進められています。今後は利用事業所の増加が見込まれるため、来年度以降の本格運用に向けた体制整備を行いました。

2. 【計画】

多職種連携のためのツール、「MC S（メディカルケアステーション）」を活用し、ご利用者の必要な情報を地域の医師や看護師等とタイムリーに共有できるようにいたします。

【実績】

「MC S」の活用は定着しており、医師や看護師等との相互連絡が円滑に行えるようになりました。これにより、関係者間での情報共有がより迅速かつ容易になっています。

行政受託業務（臨時）

【計画】 なし

【実績】

・町田市在宅介護実態調査 58 件 合計 63,800 円。

次期（第 10 期）介護保険事業計画策定に必要な高齢者および家族に対するアンケート調査に協力し、約 3 か月間にわたり実施しました。本業務は、要介護認定の訪問調査時に認定調査員が聞き取りを行う形で受託しました。

各種委員会・会議

【計画】

- ① 法人運営委員会
- ② 虐待防止委員会
- ③ 感染対策委員会
- ④ 広報委員会
- ⑤ 部署内会議

【実績】

各委員会は法人内の他事業部門と連携し、合同で実施しました。

部署内会議は、毎週 1 回、事業所内の情報共有及び課題の把握や、利用者の支援方針の決定、地域のサービスの情報収集、ケアマネジメントの技術向上等を目的として開催しました。

地域貢献活動の実施

【計画】 なし

【実績】

・広報誌「けあなる」に地域での暮らしと介護保険に関する記事を掲載しました。

また、11 月には地域住民を対象とした個別の無料介護相談会を開催し、2 名からのご相談に対応しました。

令和7年度 ケアマネジメントセンター成瀬

事業実績①(収入:プラン作成料、予防プラン作成料、認定調査料 ※請求ベース)

(単位:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護支援介護料 (加算含む)	2,555,900	2,683,964	2,611,731	2,721,926	2,527,668	2,603,870	2,601,723	2,754,405	2,664,782	2,624,395	2,550,139	2,457,736	31,358,239
介護予防プラン	90,218	70,816	70,816	66,390	66,390	66,390	61,964	78,400	73,974	57,538	57,538	67,968	828,402
認定調査	114,400	168,300	132,000	30,800	105,600	111,100	154,000	110,000	145,200	107,800	84,700	178,420	1,442,320
合計	2,760,518	2,923,080	2,814,547	2,819,116	2,699,658	2,781,360	2,817,687	2,942,805	2,883,956	2,789,733	2,692,377	2,704,124	33,628,961

事業実績②(ケアプラン作成・加算・予防プラン作成・認定調査、各種件数)

1. 居宅介護支援 ケアプラン作成数(要介護)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基本	介護1. 2	110	113	111	113	105	109	115	120	115	119	115	113	1,358
	介護3. 4. 5	34	37	34	39	36	36	32	35	34	29	29	27	402
	合 計	144	150	145	152	141	145	147	155	149	148	144	140	1,760
	利用休止中	5	1	0	1	0	1	3	3	3	5	3	5	30
加算	特定事業所Ⅱ ※1	144	150	145	152	141	145	147	155	149	148	144	140	1,760
	初回 ※2	5	7	2	4	2	3	3	4	4	3	1	4	42
	入院時情報連携Ⅰ ※3	0	2	0	5	1	1	2	1	1	1	2	0	16
	入院時情報連携Ⅱ ※4	0	1	1	3	0	1	1	2	1	3	0	2	15
	退院・退所Ⅰ ※5	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3
	退院・退所Ⅱ ※6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	通院時情報連携加算	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2

2. 介護予防プラン作成数(要支援)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基本	要支援1, 2	17	16	16	15	15	15	14	15	14	13	13	14	177
加算	予防委託連携加算	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	予防委託+初回加算	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	6

3. 要介護認定調査数

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
調査	認定調査(町田市)	26	37	30	7	24	24	35	25	33	22	18	38	319
	認定調査(他市区町村)		1				1				2	1	2	7
	合 計	26	38	30	7	24	25	35	25	33	24	19	40	326

【※備考:主な加算項目について】

加算名称	内 容
※1「特定事業所加算」	体制整備による質の高い支援を評価
※2「初回加算」	新規利用時等の初回支援を評価
※3「入院時情報連携加算Ⅰ」	入院1日目に医療機関との情報連携を行った場合を評価
※4「入院時情報連携加算Ⅱ」	入院3日目までに医療機関へ情報提供を行った場合を評価
※5「退院退所加算Ⅰ」	退院、退所時の1回以上の医療機関との在宅復帰連携支援を評価
※6「退院退所加算Ⅱ」	退院、退所時の2回以上の医療機関との在宅復帰連携支援を評価

グループホーム(認知症対応型共同生活介護)

1. 【目標・計画】

サービスの質の向上に関する取り組み(会議やケースカンファレンスの開催等)

【実績】

ユニット会議は毎月開催しました。ケースカンファレンスはユニット会議の中で適宜開催することもありました。全体会議は開催できませんでした。

今年度、第三者評価を受審しました。評価結果やご家族からのアンケートや評価についてスタッフ間でも共有し、よりよいサービスへ向上につながるように取り組んでいます。

2. 【目標・計画】

感染症対策の実践(感染予防対策・研修の開催等)

【実績】

面会や外出については感染症予防対策をした上で継続していくことができました。8月に1階で新型コロナウイルス感染が発生し、その結果も踏まえて感染対策や備品の整備の見直しや研修を行いました。

3. 【目標・計画】

健康管理について(医療機関との連携・入居者の健康管理)

【実績】

新たに協力医療機関連携加算を取得し医療との連携に努め健康管理につなげました。

4. 【目標・計画】

事故防止・ヒヤリハットの取り組み(振り返りと委員会の開催)

【実績】

些細な報告もあがっていましたが。職員間で共有することはできましたが、入院を伴う事故もありましたので、さらに十分な分析や再発防止策等の検討が課題となっています。

5. 【目標・計画】

日々の生活の中での取り組み・行事等(役割や楽しみの共有)

【実績】

日常の中で少しでも役割やできることなどを意識して行いました。家事等できる範囲での役割を持ってもらい、体操やレクリエーションなども適時実施できましたがYouTube等に頼りがちになっている面もありましたので下半期は職員が行うように意識して実施しました。外出や散歩の機会もありましたが、もう少し増やせるとよかったです。

〈実施行事・外出〉

4月 桜花見、5月 喫茶店外出、6月 トーヨーカドー外出、7月 ｲﾝ外出、七夕(短冊)、
8月 土用の丑の日(うなぎ)、八坂神社盆踊り、9月 敬老会、11月 運動会、遠足、
12月 Xmas会 年越しそば、1月 おせち どんど焼き初詣、2月 節分豆まき、
3月 雛祭り 梅見。 不定期：食事作り(肉じゃが、コロッケ)、おやつ作り(梅ジュース、アップルパイ等)、お誕生日会等

6. 【目標・計画】

職員がやりがいを感じる職場づくり(コミュニケーション・課題や目標の共有)

【実績】

定期面談の機会を設け、職員の目標などを確認し、できるだけ実践できるようにしました。スタッフ間のコミュニケーションがとれるようにしました。

7. 【目標・計画】

業務内容の目的や手順の明確化(目的や手順の明確化)

【実績】

マニュアルの更新と新たに必要なマニュアル作成は一部しか着手できませんでした。

8. 【目標・計画】

地域との連携・交流（地域行事への参加等）

【実績】

八坂神社の盆踊りや、どんど焼きなど地域の行事に参加しました。運営推進会議を通して、地域との連携をとることができました。今年度初めて RUN 伴(ランとも)MACHIDA（認知症の人と地域住民が、一緒にタスキをつなぎながら走るイベント）に事業所として参加しました。

9. 【目標・計画】

高齢者虐待防止と身体拘束に関する適正化の取り組み(検討会・研修の開催等)

【実績】

検討会を3ヶ月に一回開催しました。9月に虐待の芽チェックリストのアンケートを実施し、研修会を行なった。9月にスタッフのケア、対応で虐待ヒヤリハット報告があがった事項について改善に向けた取り組みを行っています。

10. 【目標・計画】

災害対応マニュアルや事業継続計画(BCP) 訓練や備品の整備(訓練と見直し)

【実績】

事業継続計画(BCP)感染予防については新型コロナウイルスの感染対応の結果も踏まえて追加や修正をしています。災害訓練については図上訓練も含めた研修を実施しました。

11. 【計画】 なし

【実績】

今年度からグループホームでインスタグラム(SNS)を開始し、当ホームの活動や行事等の様子を掲載して、ご家族や地域の事業所等にも情報を発信しています。

12. 【目標・計画】

令和7年度事業収入達成額と評価(稼働率97%・収入目標100,000,000)

【実績】

稼働率は95.2%となりました。看取り加算や新たな医療連携加算等もあり収入は¥100,229,000となり、目標を達成できました。(予算比100.2%)

令和7年度 木曽東グループホーム収入等実績

(金額単位:千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
①前年度収入実績		8,396	8,397	8,157	8,740	8,495	8,386	8,817	8,597	8,808	8,836	8,155	8,530	102,314
②収入予算		8,220	8,495	8,220	8,495	8,495	8,220	8,495	8,220	8,495	8,495	7,655	8,495	100,000
③収入実績		8,033	8,123	8,546	8,802	8,828	8,599	8,165	7,547	7,752	8,985	8,159	8,690	100,229
④(②-③)差額		187	372	-326	-307	-333	-379	330	673	743	-490	-504	-195	-229
⑤(③/②) 予算達成率		97.7%	95.6%	104.0%	103.6%	103.9%	104.6%	96.1%	91.8%	91.3%	105.8%	106.6%	102.3%	100.2%
⑥居室数		540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	504	558	6,570
⑦目標稼働居室		535	552	535	553	552	535	553	535	552	552	498	552	6,504
⑧稼働居室		492	507	536	558	558	540	507	468	520	519	504	548	6,257
⑨(⑧/⑥) 稼働率		91.1%	90.9%	99.3%	100.0%	100.0%	100.0%	90.9%	86.7%	93.2%	93.0%	100.0%	98.2%	95.2%
四 半 期	⑩居室	1,638			1,656			1,656			1,620			6,570
	⑪稼働 居室	1,535			1,656			1,495			1,571			6,257
	⑫(⑪/⑩) 稼働率	93.7%			100.0%			90.3%			97.0%			95.2%
入居者数		0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
退居者数		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2

看護グループ

【総括】

今年はインフルエンザが A 型、B 型ともに流行し、新型コロナ感染症も一時的に町田市でも罹患者が増えました。その状態でも特養入居者には罹患者はでませんでした。感染予防策を緩和しつつも重要なことは各部署と協力し徹底して行ってきました。

また、職員にも情報を共有し感染予防を促したため罹患者も数名ですみました。

1, 【計画】 施設の感染対策を実施します。

【実績】

各部署の業務内容と感染状況を踏まえて感染対策を強化する部分と緩和する部分を施設長と相談しながら行ってきました。各部署で状況がかなり違うが、少しでもスムーズにいくよう検討し緩和していきました。

2, 【計画】 デイサービス利用者の健康管理を実施します。

【実績】

今年度はインフルエンザが猛威を振るった年でもありました。それに加えて新型コロナ感染症も一時期流行りました。そのため関係職と感染対策の強化と緩和について相談しながら進めてきました。流行中に職員が何人かは感染症に罹患しましたが、すべて単発で施設内感染ではありませんでした。

3, 【計画】 特養入居者の健康管理を実施します。

【実績】

入居者が高齢となり重度化し医療サポートが増加しています。また、新規の入居者でもすでに介護度が高く、入居直後から医療的サポートが必要なケースが増えています。出来るだけ早期にトラブルを予測、発見し、予防的ケアが行えるように、多職種とも相談し計画を立案、実施してきました。また、感染対策の緩和を検討し進めてきました。

お看取りの方も数名おり、少しでも安楽に過ごせるようケアを行いました。

4, 【計画】 職員への研修を行います。

【実績】

今年度は看護師も管理者の外部の研修に参加することができました。施設内では大人数での研修も行うことができ、引き続き受け身ではなく参加型の研修を取り入れていき個別研修も継続して行っていきたいと思います。

総務管理課（法人本部事務局）

1、本部業務

【計画】

- ①理事会・評議員会の開催（3回の開催を予定）
- ②役員・評議員改選手続き

【実績】

- ①理事会 …年5回開催（うち2回は決議の省略）
評議員会…年3回開催（うち1回は決議の省略）
- ②役員・評議員改選手続きを予定通り行いました。

2、経理関係業務

【計画】

(1)通常業務

- ①令和6年度決算業務、②監事監査、資産登記変更手続き、③令和6年度補正予算、④令和7年度当初予算作成、⑤起票処理、⑥小口現金管理、⑦毎月の業務処理報告書の作成（月次試算表等）、⑧各種台帳作成

(2)その他業務

- ・運営委員会用財務データの作成と提出
月1回開催する運営委員会用に、月次の収支状況報告書及び、収入・支出の予実対比の推移表を作成し提出する。また、併せて事業活動計算書ベースで作成した複数年対比のサービス活動収益、人件費、経常増減差額等の比較表の作成及び提出。

【実績】

(1)通常業務

- ①令和6年度決算書作成（理事会承認：5/31、評議員会承認 6/16）、②監事監査、資産変更・代表者変更登記手続き、③令和7年度第一次補正予算（理事会承認：10/20、評議員会承認：11/15）、④第二次補正予算、令和8年度当初予算（理事会承認：3/16、評議員会承認：3/20）、⑤月次業務処理報告書（月次試算表等）の作成、⑥本部・財務に関する内部監査：R8.4/10

(2)その他業務

- ・運営委員会用財務データの作成と提出
月1回開催する運営委員会用に、月次の収支状況報告書及び、収入・支出の予実対比の推移表を作成し配付しました。また、併せて事業活動計算書及び資金収支計算書ベースで作成した複数年対比のサービス活動収益、人件費、経常増減差額等の比較表も配付し、理事長、主任、副主任による毎月の財務状況の共有を行いました。

2、給与、労務管理業務

【計画】

(1)通常業務

- ①勤怠管理、給与支給業務
- ②月次勤務表作成
- ③年末調整：12月
- ④支払調書、法定調書の作成提出：1月
- ⑤職員定期健康診断等の実施
 - ・職員定期健康診断…8月～10月（夜勤業務従事者については、8、2月、年2回の実施）
 - ・ストレスチェック・・・10～11月
 - ・職員インフルエンザ予防接種・・・11月ごろから
- ⑥職員入職・退職手続き（随時）
- ⑦社会保険加入手続き（随時）
- ⑧介護職員処遇改善手当支給手続き（計画書、報告書作成、提出等、令和7年度介護報酬改正による処遇改善加算（今年度から義務化の職場環境要件含む）

(2)その他業務見直し

- ①介護職員不足への対応

介護職員の人材不足に対する取り組みの継続。ここ数年、問題となっている介護職員不足について、引き続き各種見直しに取り組み問題解消に努めます。
- ②ハラスメント対策の強化

【実績】

(1)通常業務

- ①～④は予定通り実施、⑤職員定期健康診断等の実施、…10月（夜勤業務従事者については、10月と3月、年2回の実施）、ストレスチェック…11月、職員インフルエンザ予防接種…10月、⑥職員入職・退職手続き（随時実施）、⑦社会保険加入手続き（随時）⑧介護職員等処遇改善手当支給手続き（計画書、報告書作成、提出等）
- ・令和7年度東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当事業を申請し活用致しました。

(2)その他業務見直し等

- ①介護職員不足への対応

就業規則を改訂し、定年を70歳に引き上げました。
- ②ハラスメント対策の強化

予定していた研修を実施しました。

4、各種法令点検等

【計画】

避難訓練（年2回）、消防設備点検及び消防設備の説明会（年2回）、エレベーター点検（月次）建築設備定期点検（年1回）、貯水槽清掃・点検（年1回）、簡易専用水道検査（年1回）、正面玄関自動ドア保守点検（年2回）非常用自家発電機年次点検（年1回）

【実績】

別紙一覧表参照

5、その他

【計画】

(1)災害対策訓練等

- ①BCPに基づく研修と訓練の実施。
- ②避難確保計画に基づく訓練の実施

(2)調査関係

- ①令和6年度現況報告書等の届出（財務諸表等電子開示システムによる）
- ②福祉医療機構への令和6年度事業報告書の提出
- ③介護サービス情報公表制度の報告
- ④その他行政各種からの調査

(3)主な委員会の開催

- ①運営委員会：毎月
- ②感染対策委員会：原則隔月
- ③研修委員会：毎月
- ④広報委員会：年5回
- ⑤給食委員会：毎月
- ⑥衛生委員会：毎月
- ⑦虐待防止研修：年1回以上

(4)広報関係

- ・広報誌「けあなる」、年2回発行予定

(5)社会貢献活動

- ①週一回の施設周辺清掃活動の実施
- ②「ケアセンター成瀬まつり」の開催検討

(6)大規模修繕計画の作成準備

【実績】

(1)(3)は、別紙一覧表参照。

(2)調査関係

- ①及び②は期限までに提出致しました。③はシステム改修中のため未実施です。
- ④は随時対応致しました。

(4)広報関係

- …広報誌「けあなる」は、No.48号（10月20日発行）を1回発行致しました。

(5)社会貢献活動

- ①週一回の施設周辺清掃活動の実施・・・基本雨天等悪天候時を除き毎週1回、朝9時前後の間に実施しました。
- ②「ケアセンター成瀬まつり」の開催検討
…今年度は実施しませんでした。

(6)大規模修繕計画の作成準備

- …大規模修繕の為、昨年度後半に建物診断を受けましたが、その結果、過去の修繕関係において不具合が見つかり、急遽当該業者との間で話し合いの場を持ち、復旧工事をする運びとなりました。この当該工事に9月から10月始めまで約1ヶ月を要しました。今年度はこの復旧作業に時間を要した為、大規模修繕計画作成は次年度引き続き行って参ります。

5. 総括

今年度も職員不足にかかる手続きに時間を費やすことが多い一年でした。

まず、人事については、ここ数年課題となっていた特別養護老人ホーム・暖家での派遣職員、派遣業者の利用によるコスト増について、直接雇用への切り替えを積極的に進め、今年1月より同部署の職員は全員直接雇用となりました。

また、生産年齢人口の減少が社会的な問題となっており、介護業界の人材不足にも大きな影響を与えております。今年度はその対応策の一つとして定年の引き上げを行いました。人的サービスである介護サービスにとって人材の安定はサービス提供に大きく影響するため、今後も多面的な対策を検討して参ります。

開設より30年となるケアセンター成瀬の建物について、今年度はケアセンター成瀬の大規模修繕計画前の検査によって確認された要修繕箇所の工事を行いました。大規模修繕計画については、次年度も引き続き検討して参ります。

最後に、財務、経理業務については定例通り滞りなく行いました。その上で、毎月運営委員会で部門ごとの予算、実績の報告、及び確認を行いました。ここ数年業績の低迷しているデイサービスについて取り上げる機会が多く、同委員会でも話し合い、部門を超えての検討が重ねられました。

その他物価高騰等、今年度は厳しい社会情勢に直面致しましたが、今後も地域の皆様により良いサービスを安定してご提供できるよう、法人一丸となって取り組んで参ります。

令和7年度 避難訓練・建物点検等実施一覧表

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数合計
避難訓練							10/17					3/13	2
総合訓練 (消防設備等)				8/22							2/13		2
消防設備点検				8/22							2/13		2
避難確保計画による訓練				8/28									1
BCP（自然災害） 訓練の実施										1/28			1
BCP（自然災害） 研修の実施										1/28			1
ボイラー点検					8/27								1
建築設備定期点検												3/11	1
水質検査		5/19											1
受水槽・汚水槽清掃・点検	4/27												1
エレベーター点検	4/15	5/20	6/17	7/15	8/19	9/16	10/21	11/18	12/16	1/20	2/17	3/17	12
電気設備点検		5/20		7/16		9/12		11/19		1/21		3/6	6
非常用自家発電機 メンテナンス						9/24							1
自動ドア保守点検						9/12				1/22			2

※上表の日付は、各項目の実施日を表しています。

令和7年度 各種会議・委員会の実施状況

1、理事会(計5回)

開催日	議 題 他
5月31日	第1号議案 理事長・常務理事の業務執行状況の報告
	第2号議案 令和6年度事業報告の件
	第3号議案 令和6年度決算報告及び監査報告の件
	第4号議案 次期役員(理事・監事)候補者選任の件
	第5号議案 次期評議員候補者の件
	第6号議案 評議員選任解任委員会の開催の件
	第7号議案 就業規則の一部改訂
	第8号議案 定時評議員会に関する招集事項決定の件
6月16日	第1号議案 理事長選任の件
	第2号議案 常務理事選任の件
	第3号議案 次期第三者委員選任の件
	第4号議案 次期評議員選任・解任委員の選任の件
10月20日	第1号議案 理事長及び常務理事の業務執行状況の報告
	第2号議案 短期借入金更新の件
	第3号議案 寄附金の受入れについて
	第4号議案 令和7年度第一次補正予算の件
	第5号議案 認知症対応型通所介護事業休止延長の件
	第6号議案 就業規則の改訂(定年の引き上げ)
	第7号議案 デイサービス事業再建策の件
	第8号議案 定時評議員会に関する招集事項決定の件
12月12日	第1号議案 (決議事項)認知症通所介護事業の休止の延長及び廃止の件
決議省略	
3月16日 決議省略	第1号議案 給食業務委託契約の件
	第2号議案 令和7年度第2次補正予算の件
	第3号議案 令和8年度事業計画(案)の件
	第4号議案 令和8年度当初予算の件
	第5号議案 デイサービス及び、地域密着型特別養護老人ホーム・暖家の 管理者変更の件
	第6号議案 評議員会の招集事項の件

2、評議員会(計3回)

開催日	議 題 他
6月16日	第1号議案 令和6年度事業報告の件
	第2号議案 令和6年度決算報告及び監査報告の件
	第3号議案 次期役員(理事・監事)選任の件
	第4号議案 就業規則一部改訂の件
11月15日	第1号議案 理事長及の業務執行報告
	第2号議案 短期借入金更新の件
	第3号議案 寄附金の受入れについて
	第4号議案 令和7年度第一次補正予算の件
	第5号議案 認知症対応型通所介護事業休止延長の件
	第6号議案 就業規則の改訂(定年の引き上げ)
3月20日 決議省略	第1号議案 給食業務委託契約の券(報告事項)
	第2号議案 令和7年度第2次補正予算の件(決議事項)

開催日	議 題 他
3月20日 決議省略	第3号議案 令和8年度事業計画(案)の件(決議事項)
	第4号議案 令和8年度当初予算の件(決議事項)
	第5号議案 デイサービス及び、地域密着型特別養護老人ホーム・暖家の 管理者変更の件(報告事項)

3、運営委員会(計12回)

開催日	議 題 他
4月24日	・理事長挨拶
	・令和7年3月度収支報告
	・職場環境改善事業への取り組みについて
	・人事の件
5月29日	・理事長挨拶
	・令和6年決算及び4月度収支報告
	・就業規則の一部改定について
	・福祉医療機構への令和6年度「施設状況票」作成のお願い
	・その他の事務連絡
6月25日	・理事長挨拶
	・令和7年5月度収支報告
	・夏季手当、及び令和7年度処遇改善手当について
7月31日	・理事長挨拶
	・令和7年6月度収支報告
	・建物修繕の実施について
	・令和7年度避難確保計画の避難訓練実施について
8月28日	・理事長挨拶
	・令和7年7月度収支報告
	・令和7年度避難確保計画の避難訓練の実施
	・令和7年度上半期人事考課面談の件
	・避難訓練実施の日程調整
	・令和7年度事業計画に関する上半期総括提出依頼の件
9月25日	・理事長挨拶
	・令和7年8月度収支報告
	・最低賃金引き上げに伴う労働条件通知書の差替え
	・令和7年度上半期総括
10月30日	・理事長挨拶
	・令和7年9月度収支報告
	・就業規則の一部改訂について
11月27日	・理事長挨拶
	・令和7年10月度収支報告
	・年賀状の件
12月25日	・理事長挨拶
	・令和7年11月度収支報告
	・令和7年度BCP(自然災害)、訓練及び研修について
	・カスタマーハラスメントについて
1月28日	・理事長挨拶
	・令和7年12月度収支報告
	・令和8年度事業計画について
	・次年度36条協定について
	・令和8年度、BCP(自然災害)、訓練及び研修について
2月26日	・理事長挨拶
	・令和8年1月収支報告
	・下半期人事考課について
	・避難訓練日程調整

2月26日	・令和7年度事業報告書作成及び提出について
3月26日	・理事長挨拶
	・令和8年2月度収支報告
	・令和8年度、処遇改善手当の支給計画、新年度給与について

4. 感染症対策委員会(計4回)

	議 題 他
5月29日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・急性呼吸器感染症とは
8月28日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・感染グッズについて ・百日咳の報告が増加している
11月27日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応
2月26日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・今季のインフルエンザについて

5. 広報委員会(計3回)

開催日	議 題 他
7月4日	・けあなるNo48号について
9月5日	・けあなるNo48号の発行について
10月3日	・けあなるNo48号の校正について

6. 研修委員会(計11回)

開催日	議 題 他
4月23日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…今年度の施設内研修計画
5月20日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
6月24日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
8月8日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
9月29日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
10月28日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
11月25日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修

12月22日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
1月22日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修、検討事項
2月24日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修、検討事項
3月24日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修、検討事項

7、衛生委員会(計12回)

開催日	議 題 他
4月26日	・巡視報告 ・その他
5月29日	・巡視報告 ・その他
6月25日	・巡視報告 ・その他
7月31日	・巡視報告 ・その他
8月28日	・巡視報告 ・その他
9月25日	・巡視報告 ・その他
10月25日	・巡視報告 ・その他
11月27日	・巡視報告 ・その他
12月25日	・巡視報告 ・その他
1月28日	・巡視報告 ・その他
2月26日	・巡視報告 ・その他
3月26日	・巡視報告 ・その他

8、給食委員会(計12回)

開催日	議 題 他
4月7日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
5月5日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
6月2日	・各部署の報告 ・検食結果

	・入居者栄養管理
7月7日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
8月4日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
9月1日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
10月6日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
11月3日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
12月1日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
1月5日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
2月2日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
3月2日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理

9、虐待防止委員会(計3回)

開催日	議 題 他
6月25日	・令和7年年2月27日実施「虐待の芽チェックリスト」のまとめ ・令和7年度 年間計画について ・厨房、ボランティア向けの今年度研修の実施について ・ヒヤリハットの提出状況
9月25日	・提出のあったヒヤリハットについて
11月27日	・提出のあったヒヤリハットについて

令和7年度各種研修報告

1、施設内研修

研修委員会で計画した全職員、又は一部の職員を対象にした研修を実施。

日付	講師	研修内容
7月24日	外部講師	認知症の理解
9月24日	外部講師	管理職研修
2月20日	内部職員	虐待防止研修

2、外部研修実績(リモートでの参加含む)

日付	受講者	研修内容
5/17～2/21	特養職員	ソーシャルワーク・アカデミー研修会
6月17日	ケアマネ職員	個別避難計画説明会
7/10～11/5	特養職員	令和7年度第4回認知症介護実践リーダー研修
7/23～8/25	ケアマネ職員	令和7年度第1期東京都介護支援専門員現任研修 専門研修1
7月25日	ケアマネ職員	「アドバンス・ケア・プランニングの実践における連携協働」 (町田市ケアマネジャー連絡会)
7月25日	看護職員	看護管理の基本 看護管理者の役割と基本姿勢を学ぶ
7月30日	特養職員	国民健康保険証有効期限切れに関する 研修会
8/1～10/31	総務職員	会計実務研修会 基礎編
8月1日	総務職員	労働基準法等に関する研修
8月6日	ヘルパーステーション職員	介護記録の書き方
8月20日	総務職員	介護事業所のための効果的な採用セミナー
9月4日	総務職員	令和7年度 人事管理セミナー
9月5日	ケアマネ職員	成年後見制度いろはのい
9月8日	ケアマネ職員	虐待防止研修
9/25～11/7	特養職員	2025年度ユニット研修
9月26日	ケアマネ職員	「アドバンス・ケア・プランニングの実践における連携協働」 (町田市ケアマネジャー連絡会)
1月26日	ケアマネ職員	令和7年度障害及び障害者理解研修事業障害者と互いに理解し 目指す共生社会 合理的配慮と建設的対話
2月2日	総務職員	介護報酬請求事務に関する研修会(応用編)
10月21日	総務職員	令和7年度安全運転管理者講習
10月22日	ケアマネ職員	町田市介護人材開発センター主催「接遇・マナー研修1・2」
11月14日	ケアマネ職員	感染症予防対策研修(感染症BCP含む)
11月14日	ケアマネ職員	介護保険認定調査新規研修
11月23日	ヘルパーステーション職員	介護講習会
11/27～12/19	看護職員	結核予防講習
11/28～12/3	ケアマネ職員	令和7年度東京都介護支援専門員現任研修専門研修Ⅱ
12/1～2/28	特養職員	令和7年度介護サービス事業管理者等に対する認知症のある人 の意思決定支援研修
12/1～3/13	特養職員	カスタマーハラスメント対策説明会
12/1～3/13	特養職員	同上

日付	職種	研修内容
12/1～3/13	特養職員	カスタマーハラスメント対策説明会
12/1～3/13	特養職員	同上
12/1～3/13	特養職員	同上
12月4日	総務職員	介護事業者向け カスタマーハラスメント対策研修
12月19日	ケアマネ職員	「かかりつけ医との連携とアドバンス・ケア・プランニングの実践～ケアマネジャーの視点から～」(町田市ケアマネジャー連絡会)
1/6～2/6	総務職員	介護報酬事務に関する研修会(応用編)
1/23～2/27	特養職員	相談職向け研修
1/23～2/27	特養職員	相談職向け研修

令和7年度 施設内事故(車両事故含む)発生状況

※発生部門:「HS」・・・ヘルパーステーション、「CM」・・・ケアマネジメントセンター

「GH」・・・グループホーム

発生日	発生部門	種類/行為者	事故内容	受傷者/破損物品	発生日	発生部門	種類/行為者	事故内容	受傷者/破損物品
4/11	HS	車両	自損事故	ヘルパー職員 車両、壁接触	8/10	GH	取引業者	誤薬	職員が発見
4/17	HS	職員	物損	ヘルパー 利用者宅備品	8/14	特養	車両	傷確認	特養職員 車両傷確認
4/23	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者	9/6	特養	車両	破損確認	特養職員 車両破損確認
4/28	HS	職員	物損	ヘルパー 利用者宅備品	8/19	HS	職員	服薬忘れ	ヘルパー利用者
4/30	GH	職員	誤薬	グループホーム 入居者	8/29	デイ	車両	転倒	デイ車両、歩行者 転倒事故
5/7	GH	職員	落薬	職員が薬を発見	8/31	GH	職員	落薬	職員が薬を発見
5/13	HS	車両	傷確認	ヘルパー職員 車両傷確認	9/3	特養	職員	誤薬	特養入居者
6/2	HS	車両	傷確認	ヘルパー職員 車両傷確認	9/16	GH	取引業者	納品忘れ	グループホーム 入居者
6/16	GH	職員	服薬忘れ	グループホーム 入居者	9/19	HS	職員	服薬忘れ	ヘルパー利用者
6/22	HS	利用者	転倒	ヘルパーステー ション利用者	9/23	HS	職員	訪問忘れ	ヘルパー利用者
6/22	HS	車両	自損事故	ヘルパーステー ション職員	9/24	HS	職員	訪問忘れ	ヘルパー利用者
6/22	HS	職員	落薬	職員が薬を発見	9/24	HS	職員	服薬忘れ	ヘルパー利用者
6/27	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者	10/4	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者
6/28	HS	職員	物損	ヘルパー 利用者宅備品	10/7	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者
6/30	HS	利用者	転倒	ヘルパー利用者	10/17	GH	入居者	耳より出血	グループホーム 入居者
7/1	GH	職員	落薬	職員が薬を発見	10/17	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者
7/1	GH	職員	落薬	職員が薬を発見	10/22	デイ	車両	接触	デイ職員 車両、鉄柱接触
7/1	GH	職員	落薬	職員が薬を発見	11/6	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者
7/4	GH	職員	落薬	職員が薬を発見	11/15	HS	車両	自損事故	ヘルパー職員 車両、壁接触
7/7	GH	職員	誤薬	グループホーム 入居者	11/19	CM	車両	自損事故	ケアマネ職員 車両、段差接触
7/16	CM	車両	傷確認	ケアマネ職員 車両傷確認	12/22	HS	職員	物損	ヘルパー 利用者宅備品
7/19	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者	12/31	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者

発生日	発生部門	種類/行為者	事故内容	受傷者/破損物品
1/3	HS	職 員	訪問忘れ	ヘルパー利用者
1/4	GH	職員	落薬	職員が薬を発見
1/8	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者
1/8	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者
1/19	HS	職 員	訪問忘れ	ヘルパー利用者
2/1	HS	職 員	服薬忘れ	ヘルパー利用者
2/2	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者
2/4	HS	職 員	服薬忘れ	ヘルパー利用者
2/9	HS	職 員	服薬忘れ	ヘルパー利用者
2/14	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者
2/19	GH	職 員	落薬	グループホーム 入居者
2/23	デイ	車両	自損事故	デイ職員 車両、壁接触
3/3	GH	入居者	転倒	グループホーム 入居者
3/18	HS	職 員	物損	ヘルパー 利用者宅備品